



冬の自然観察会 呼人半島

自然の豊かさ 実感！

3月3日（日）、青空に加えて春を思わせる暖かさのもと、網走国立公園の一部である呼人半島で冬の自然観察会を行いました。

31名（含む常呂川FC）の参加者は、ガイドの案内のもと4グループに分かれスノーシューを履いて散策開始です。

森林内には、シラカンバ、ヤマナラシ、ハルニレ、カツラ、ヤチダモ、ヤチハンノキなど、多くの樹種があり、直径1mを越えるミズナラの大木や10cm以上ある太いサルナシ（コクワ）もありました。

雪上には、エゾリス、キタキツネ、エゾシカ等の足跡があり、動物にとっても生活しやすい環境であると感じました。

また、数は多くありませんでしたが（網走湖の氷下漁との関係と思われます）が、オオワシ、オジロワシが大空を舞う姿も確認できました。



地球温暖化の影響を受けてか、例年に比べて積雪が少なく、ミズバショウが顔を出している等、『春近し』を感じる観察会になりました。

その後、「フラワーガーデンはな・てんと」で昼食、流氷館を見学して帰路につきました。

<吉田昭>

冬の自然 観察会

ワシもいたぞ！

by: オジロ

オオワシに感動！

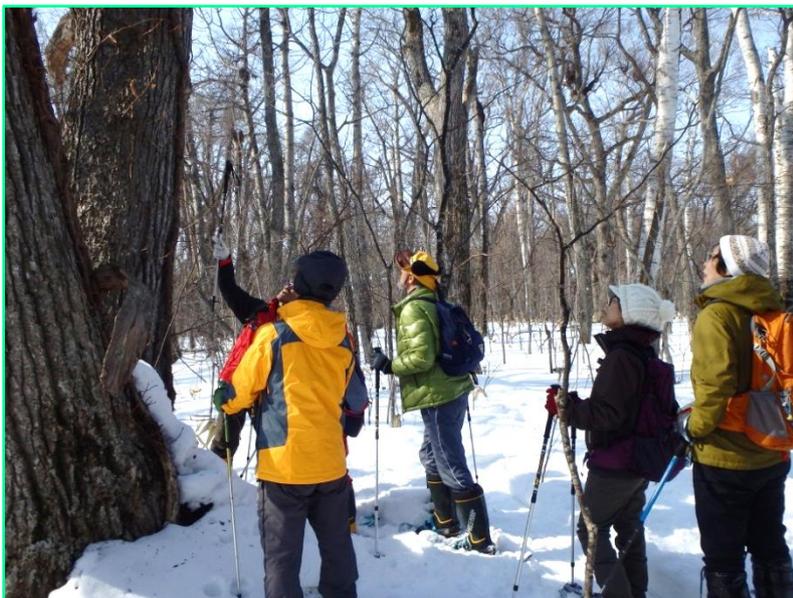
青空広がる良い天気。今回も、どんな発見ができるかなあとワクワクしながら散策が始まりました。

個人的に気になっていたコクワの蔓を発見して大興奮！今年の収穫時期に足を運ぼうと心に決めています。

冬の時期だから見えるもの、この時期だからこそそのモノを今回も見ることができました。

大空を舞うオオワシ・オジロワシの群れに遭遇し、何とも言えない感動です。

雪解けしたところから顔を出すミズバショウを見つけ、徐々にやってくる春を一足早く感じることもできました。



散策会の醍醐味は、普段の生活から離れてゆっくりと自然を感じることができるとおもいます。

そして、「こうだね、ああだね」と何気のない会話から生まれるコミュニケーションも散策会の楽しみの一つ。

流氷館ではパネルの前で写真撮影。年に数回しかお

会いできない方とも楽しく過ごすことができるのが「オホーツクの会」の素敵どころだと改めて感じることもできました。

ありがとうございました！

<山田佳世>

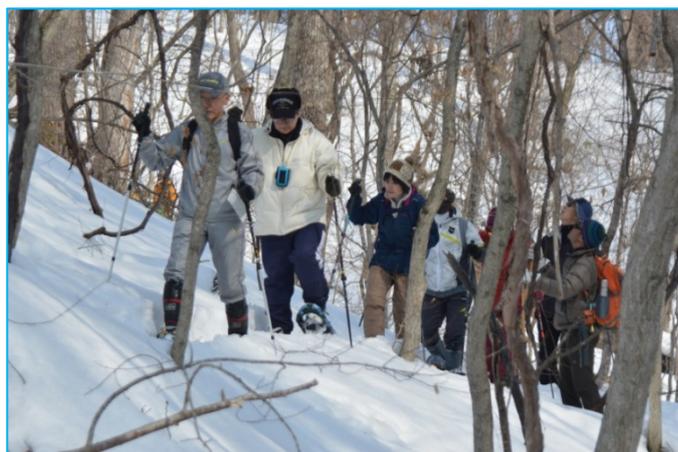
ミズバショウに 感じる…春

冬の自然 観察会

「オホーツクの会」に入会してまだ2年ですが、散策会、特に冬のスノーシュー散策は、ふだん入れない森の中も歩くので、いつも楽しみにしています。

今回もお天気に恵まれ、初めての呼人の国有林ではお話を聞きながら、色々な木や足跡を見ながら、とても気持ち良く歩くことができました。

センノキからトゲのある若枝が出ていて「ハリギリ」という別名に納得、勉強になりました。



沢に降りると3月に入ったばかりなのにもうフキノトウ、水の中から顔を出し始めているミズバショウに春を感じ、思わずうれしくなり、みんなで立ち止まって見入ってしまいました。

空ではトビの中にオジロワシが雄々と飛び、湖畔ではオオワシも見ることができ感動しました、

見るものすべてが新鮮で楽しいスノーシュー散策でした。会の皆さん、ありがとうございました。

<大戸 香>



【なるほどクイズ】 (答えは会報のどこかに…)

「森林」には、所有者によって国有林・道有林・私有林など、生えている木の種類によって針葉樹林・広葉樹林・針広混交林など、成り立ちによって人工林・天然林など、色々な呼び方があります。

そこで問題です。

天然林と原生林の違いは何でしょう？

第 12 回総会

隊活動の充実を！

3月16日（土）、常呂川森林ふれあい推進センター2階会議室で第12回総会が会員14名の参加により行われました。

はじめに鞆師会長から『10周年の節目を経て、会の活動目標である「自然・森林に学び、森林づくりを手助けし、仲間の輪を拡げる」、この3つの柱のもと、新しく芽生えている「隊」活動を大切にし、会員の要望をまとめ活動していきましょう。』との挨拶がありました。



10周年記念行事などの活動報告、散策会を年3回に、隊活動の充実などの活動方針を受けての質疑応答があり、満場一致で議案を承認しました。

総会後には、常呂川FC南所長から「森林と水のつながり」についての話があり、森林の果たす役割について認識を深めました。

<主な意見>

- 各種イベントを行っているが、参加者がもう一度参加したいと思うような工夫が必要。
- 図書館などの公共施設を活用した広報活動など、会の活動内容を知ってもらう活動の充実を。



- こども探検隊など、内容がマンネリ化しているので工夫が必要。
- 魅力あるガイドをするためには、もっと知識が必要。自然に学び隊の活動充実を。
- 会費未納（活動不参加）が多いので対応工夫を。

新役員紹介です



総会終了後の常呂川 FC 南所長のミニ講義で森林と水の関係を改めて学習した。

森林は、生活に欠かすことのできない水を育むなど多くの公益的機能を持っている。

る。

そんな森林・林業に共感する人の輪が広がることを願って！

<小山穂積>



6年ほど前からオホーツクの会にお世話になっていましたが、近年は多忙を理由に不参加続きの不良会員です

そんな不良会員にも「是非」と声をかけていただきました。

今後は、少しでも自身の参加と新規会員の獲得に頑張ります。

<村林 宏>



昨年までは、会費納入が主な名ばかりの不良会員でした。

今後は、少し趣味（蕎麦打ち、

囲碁）の時間を削って森林ボランティア活動・イベントに回し、参加率向上に努めていきたいと考えています。

諸先輩のアドバイス・ご指導、よろしく願います。

<阿部和平>



2年前、夏と冬の自然観察会に行きたくて入会させていただいたばかりですが、この度、幹事という役に。

どこまでお手伝いできるかわかりませんが、大先輩の方たちに教えていただきながら頑張りたいと思います。

皆さん、よろしく願います。

<大戸 香>

役員体制

顧問	鞘師 守
会長	吉田 昭義
副会長	角 良和
//	栄 平男
事務局長	小島 愼
幹事	長谷川 秋夫
//	植村 之彦
//	轡田 恵美
//	渋谷 朝美
//	小山 穂積
//	阿部 和平
//	村林 宏
//	大戸 香
監査	金村 輝雄
//	小林 洋幸

よろしくお
願います

環境変化に応じた ボランティア活動を！

1月26日（土）、コープさっぽろ北見地区本部（端野）で行われた「北海道の森づくり交流会」に角、吉田昭、轡田、小島の4名が参加しました。

これは、コープさっぽろ ^{あした} 未来の森づくり基金（レジ袋不要=0.5円の基金積立）の主催で、北海道内8会場をテレビ会議システムで結んで行われました。

午前中は、岩手大学山本准教授の特別講演「森林ボランティアによる森林管理の意義と可能性」の後、各地域の取り組み報告、森づくり基金助成金贈呈式（少額助成、10万円）があり、午後からは、北見会場の参加者による森林づくりの取り組み等に関する取り組み報告・意見交換です。



助成金（目録）贈呈式

講演の中で「都市と農村、川上と川下など、生活環境が変われば自然や森林に対する考え方が違う（鹿＝可愛い or 害獣など）。生活環境の変化、参加者のニーズに対応したボランティア活動を構築していくことが必要」との話が頭に残りました。

<小島>

常呂川森林ふれあい推進センターのメールアドレスができました。各種イベントの申込み等にご利用下さい。

h_tokoro_f@maff.go.jp

【なるほどクイズ】 答え



天然林とは、人の手が全く加えられてない、もしくは長期間にわたって人手が加えられた痕跡のない森林です。

天然林のうち、極相に達している森林を原生林といいます。

★極相とは

森林は遷移〔例：山火事跡地等→シラカバ等の侵入→他の広葉樹が侵入→針葉樹が侵入し針広混交林（→針葉樹林）へと変わること〕し、長期間安定している状態を極相といいます。

オホーツク地域では、低地は針広混交林、高地は針葉樹林が極相のようです。

エゾリス勉強会（自然に学び隊）



日時 5月14日（火） 18：30～

場所 常呂川森林ふれあい推進センター2階 会議室

内容 外部講師「金田正実」氏（「うらやまのエゾリス」の著者）を招いてのスライド写真と講話。

なお、事前申込みは不要です。（「オホーツクの会」会員以外でも参加可能ですので知人・友人を誘って参加しましょう。）

隊員募集しています！（申込みは別紙で）

◆自然に学び隊	隊長	吉田	昭	義
◆炭づくり隊	隊長	小島		愼
◆クラフト研究隊	隊長	渋谷	朝	美
◆竹とんぼ隊	隊長	長谷川	秋	夫
◆身体動かし隊	隊長	栄	平	男
◆色いろ食べ隊	隊長	金村	輝	雄
◆活動広め隊	隊長	植村	之	彦
◆ロープ結び隊	隊長	角	良	和

◎重複参加もOKです。



※ 申し込みは、別紙申し込み用紙を活用下さい

○第1回自主活動（5～10月、第2火曜日&必要に応じて）

日時 2019年 5月14日（火） 9：30～
場所 森の家集合
内容 「森の家」および周辺の環境整備、自然観察他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 5月 7日（火）まで

○第2回自主活動（5～10月、第2火曜日&必要に応じて）

日時 2019年 5月25日（土） 9：30～
場所 森の家集合
内容 「森の魅（味）力を感じよう！」の準備他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 5月16日（木）まで

○森の魅（味）力を感じよう！（主催：常呂川FC）

日時 2019年 5月26日（日） 9：30～
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 9：00（受付 8：30～）
場所 オホーツクの森（森の家周辺）
内容 山菜・野草に関するエトセトラを通じて、森林の魅力を感じ、森の恵みに感謝しましょう。
持ち物 森林散策・山菜採取できる服装、昼食、飲み物他
参加費 300円（保険料、材料費等）
申込み 5月16日（木）まで、定員（30名程度）を上回った場合、抽選となりますのでご了承願います。

○第1回常呂川森林づくり塾（主催：常呂川FC）

日時 2019年 6月 9日（日） 9：30～
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 9：00（受付 8：30～）
場所 オホーツクの森
内容 森林づくり（生育調査等）と森林散策（山菜採取）
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
参加費 200円（保険料等）
申込み 5月30日（木）まで

○第3回自主活動（5～10月、第2火曜日&必要に応じて）

日時 2019年 6月11日（火） 9：30～
場所 森の家集合
内容 遊歩道等の整備、ふれあいの森協定にもとづく活動他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 6月 4日（火）まで

○森林散策会

日時 2019年 6月16日（日）
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 8：30（受付 8：00～）
場所 オンネット一周辺
内容 森林散策・自然観察を通じて、森林の果たす役割を学び、
森林の魅力を感じましょう。
持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物他
参加費 200円（保険料等）
申込み 6月 6日（木）まで

★この散策会はコープ未来の森づくり基金 2019年度少額助成を受けて実施します

○散策会の下見を兼ねて「自然に学び隊」活動（6月上旬・日程未定）
を行いますので希望者は事務局まで連絡願います。
詳細は決まり次第、希望者へ連絡します。

○オホーツクの森林づくり（共催：常呂川FC）

日時 2019年 6月30日（日） 9：30～
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます
出発 9：00（受付 8：30～）
場所 オホーツクの森
内容 森林づくり（カミネッコン植樹ヶ所の保育活動）を通じて
自然を感じる
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
参加費 200円（保険料等）
申込み 6月20日（木）まで



森林散策会等で行きたい場所、オ
ホーツクの会で企画してほしいことなど、
会の活動に関する意見・要望等ございまし
たら事務局までお寄せ下さい。

木々に関するつぶやき

【シウリザクラ】

高さ 20mほどになる落葉広葉樹。

若葉の芽生えが紅色で花のようにも見えるが 6 月頃にたくさんの白い花が穂状になっているのが本当の花。

種子散布による繁殖の他、竹・笹のように母樹から伸びた根から萌芽しクローンを作るといった特技をもつ。



会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。(退会される方は事務局へ一報願います)



心当たりの方はよろしくお願ひします。

— 納入方法 —

- ・ 総会および会が主催・参加するイベント時に納入
(会報等でご確認ください)
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入
- ・ 会の郵便局口座に振り込む(手数料がかかります)

振込先口座 19960-8073231

森林ボランティア「オホーツクの会」



お問い合わせ

北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

FAX 0157-26-2144